



学校便い

長崎市立日見中学校

第9号

令和6年7月19日

文責 校長 山本

【ふるさと学講話】

7月12日（金）は、テレビでもおなじみの山口広助さんを講師に迎え、日見地区の歴史を中心にお話をしていただきました。日見や網場、界、宿町といった日見地区の名前の由来やその地区での出来事の話に、生徒は興味深く話を聞いていました。

7月16日（火）は、本校の校歌を作詞作曲された今村興善おきよしさんの娘さんである佐藤晏子さんと、お孫さんの配偶者にあたるピーター・クルピタさんを講師に迎え、校歌誕生にまつわるお話をしていただきました。今村さんの生き方が校歌の歌詞につながっており、「♪東の空霧晴れて 旭日赤き雲仙の 霊峰仰ぎ我立てば 心清まるこの丘に 若き力は高鳴りて 強き命を思うかな♪」のように、私も人のために生きたい！、そんな思いを込めて、これから校歌を歌ってほしいです。



【生徒総会】

7月16日（火）、生徒総会を行いました。生徒会役員は、これまで何日もかけて議案書を作成したり、当日の進行について打合せを行ったりして、当日を迎えました。今回はグーグルミートを利用したオンラインでの会でした。体育館に集まっての話し合いではなかったため、いつもとは雰囲気も進め方も戸惑ったかもしれませんが、議長の山下翔我さん、松尾咲良さんは立派に進行を務めることができました。生徒会役員の皆さん、お疲れさまでした。



【日見微笑園訪問】

7月17日（水）、3年生が日見微笑園を訪問し、入居されている高齢者の方とゲームを通して交流しました。また、「よっしゃこい」を披露し、入居者の方々から、「中学生に元気をもらった」とたいへん喜んでいただきました。



【明日から夏休み】

本日、1学期の終業式を行い、次のような話をしました。

＜1学期の生活について（振り返りと今後に向けて）＞

- ・朝の玄関前でのあいさつはよくなった。今後は爽やかさをアピールしてほしい。
- ・生徒会活動や様々な学校行事の実行委員に、「わたしがやります」と積極的に取り組んでいて嬉しい。
- ・学習面では、タブレットを用いて調べたことをまとめる力はすばらしい。今後は、自分の考えをまとめて説明する、表現することに力を入れてほしい。また、すぐにあきらめるのではなく、時間をかけて粘り強く考えてまとめたり、練習を重ねたりすることが大切。

＜夏休みの生活について（注意してほしいこと）＞

- ・学習については、時間のある夏休みだからこそ、じっくり時間をかけて考えたり、練習を重ねたりする取組を行ってほしい。また、夏休みは、基本的に自分で学習を進めるしかないの、自分でその日の学習を振り返り、自分にどのような力がついたか、どんなところが必要かを点検し軌道修正を行ってほしい。
- ・命を守る行動を取ること。危機意識を持つこと。連日、熱中症による事故、川や海での事故が起きている。また、SNS等での見知らぬ人からの誘いにのり、事件に巻き込まれたという話を聞く。適切に判断し行動してほしい。

【お知らせ】

8月9日（金）は登校日です。「9時から9時10分の間に」登校してください。